

## 大阪府知事選挙候補者アンケート

|                      | 大阪都構想について  | 歯科口腔保健条例の制定  | 乳幼児医療費助成制度の対象年齢を拡充し、所得制限をなくす  | 地域基幹病院の二次・三次歯科医療提供体制整備のための財政援助            | 国保料・介護保険料引き下げのための財政援助  |
|----------------------|--|--|---|---|--|
| 無所属・自民推薦<br>栗原貴子(53) | 反対<br>しっかりと大阪を前に進めていくために再び制度論を行うことは許されない。大阪の成長・発展のために必要なことは、対立と混乱をくり返さないことであり、「大阪会議」において大阪全体の課題について議論していく。 | その他<br>昨年4月に「大阪府歯科口腔保健計画」を策定し、歯科口腔保健の向上にむけ、実効性を確保しているところ。条例よりもキメ細かい内容になっており、本計画において市町村や関係機関と連携を図っていくことが重要と考える。               | 賛成<br>平成27年1月に交付金の在り方について府と市の役割を見直し、予算拡充したところ。今後も社会全体の子育て支援策の底上げについて支援していきたいと考える。   | その他<br>未定                                 | その他<br>平成30年からの都道府県への保険者移行に伴い、市町村とともに保険料のあり方について検討を進めているところ。また、介護保険については、市町村との役割分担を適切に行い、あらゆる施策を通じて、個人の健康づくりを推進し、介護保険制度を安定させることが重要と考える。  |
| 大阪維新<br>松井一郎(51)     | 賛成<br>大阪の広域の一元化と住民自治の充実を考える上で、現在の府と市がバラバラな行政状態では、大阪は決して豊かにならない。府と市の二重行政を解消するためには統治機構を変える大阪都構想が必要。          | その他<br>大阪府は健康寿命をはじめとする様々な健康指標が全国と比較して低く、これらを改善するうえでも、歯と口の健康づくりの推進はとても重要。国が策定した「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」をもとに、「大阪府歯科口腔保健計画」で推進していく。 | その他<br>乳幼児医療費助成制度には、医療のセーフティネットと子育て支援の両方の側面があるが、府と市町村の役割分担として、府はセーフティネット部分の基準の設定を行い、対象年齢拡充・所得制限撤廃については子育て支援の側面であり、基本は市町村に行ってもらうものの、市町村への働きかけは積極的にを行い、対象年齢拡充・所得制限撤廃を進めていく。 | その他<br>地域医療介護総合確保基金や医療連携バスを通じて、体制整備に取り組む。 | その他<br>国保制度改革法案に基づいて、市町村とともに国民健康保険財政運営をおこなう。府内市町村の国民健康保険赤字計画をたて、累積赤字の解消に取り組む。併せて、府民の主体的な健康づくりを支援するため、「健康寿命延伸プロジェクト」に新たな予算を取り、府民の健康増進を図ることで、医療給付費・介護給付費の削減に繋げて、国民健康保険料や介護保険料にも良い影響を与えていきたい。 |

## 大阪市長選挙候補者アンケート

|                     | 大阪都構想について  | 歯科口腔保健条例の制定   | こども医療費助成制度の対象年齢を拡充し、所得制限をなくす  | 国保料・介護保険料引き下げのための財政援助を強める   | 生活保護の「通院医療機関等を確認する制度」は受診抑制にならないよう見直す  | 敬老バスの利用負担は見直す   |
|---------------------|--|---|---|---|---|---|
| 無所属・自民推薦<br>柳本顕(41) | 反対   | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成  |
| 大阪維新<br>吉村洋文(40)    | 賛成<br>広域の一元化と住民自治を図る上で、現状の大阪府・大阪市のバラバラな行政状態では大阪府は決して豊かにならない。広域インフラの整備と二重行政を解消し、豊かな大阪を実現するためにも、大阪都構想は有力な方法の一つだと考える。           | その他<br>他に類をみない後期高齢化社会の到来により、医療費の増大が懸念されているが、医療費を抑える為にも健康寿命を延ばすことが必要で、歯と口腔の機能を生涯維持することは質の高い生活を営むためにも大変有益だと考える。 | その他<br>大阪府は、平成27年度11月診療分から、所得制限額を児童手当と同額まで緩和するとともに、小学校修了の12歳までの間は所得制限がなくなる改正を行ったところである。所得制限はあるが、対象年齢も中学校修了の15歳までと大幅拡充されたところであり、当面は改正後の状況を見守りたい。 | その他<br>国保料や介護保険料の経済的負担を、個人の所得に関係なく引き下げることは違和感を覚える。所得に応じての応能負担を求めるところは求め、すべての世代に公平な保険料設定を検討する。                           | その他<br>必要性に応じて複数受診も選択できる制度となっており、受診抑制に繋がらないと考える。それよりもまず、医療扶助を適正に実施することが重要。                    | その他<br>敬老バスの制度に関わらず全ての制度は時代時代に応じて見直すべきだと思う。ただ、敬老バスもタダではなく、大阪府が交通局に毎年100億近い税金を投入している事業を踏まえて判断しなければならぬ。50円負担をお願いすることでその分財源に余裕が生まれ、その財源を現役世代に投資することにより、大阪を今よりも豊かにすることができると考える。 |
| 無所属<br>中川暢造(59)     | その他<br>市長と行政区長を経験した立場からは、都構想(特別区)は中途半端な自治体であり、市民に聞かれればお勧めしない。道州制を目指すなら都構想は寄り道であり、基礎自治体を強化する点では地方分権に逆行し、縮小・解体するべきは大阪府の方だ。(抜粋) | 賛成<br>口腔衛生の大切さを市民に認識してもらい、行政や医療の役割を明記することは大変結構なこと。  | その他<br>対象年齢の拡大は異論ないが、一定の所得制限は必要と考える。  | その他<br>保険制度の長期的持続という点からは財政支援のための税金投入に頼らないのが原則である。むしろ、健康で長生きできるように市民の健康管理・未病指導・介護予防の活動を充実させることに力点を置くのが行政の対応としては望ましいと考える。 | その他<br>通院している医療機関を確認する仕組み自体は必要であり、それが即、受診抑制になるとは思わない。ただし、顕著な問題が内包されているとすれば改善する姿勢があるのは言うまでもない。 | 反対<br>敬老バスは最低限度の受益者負担であり、改正後まだ間もない段階で再度見直すことは高齢者に混乱を来す。敬老バスという個々の給付の話ではなく、高齢者の健康・医療・福祉の観点から総合的メニューの中で位置づけを考えるべきだ。   |
| 無所属<br>高尾英尚(33)     | 反対<br>大阪三刀流政策を実現させます。  | その他<br>内容次第です。  | その他<br>対象年齢は拡充させたいものの、所得制限は「なくす」のは要検討と考えます。   | 賛成<br>介護保険での負担は減らしたいです。   | その他<br>現状の確認を職員、利用者として確認してから判断します。  | その他<br>80歳以上は無料といった風に、年齢が上がるとつれて割引額をUPさせます。   |

**新卒・第二新卒DHの採用なら...**

# ハモNAVI 学校求人プラン



**こんな歯科医院様へオススメ!!**

- 求人票を書くのが大変!
- 医院をもっとアピールしたい!
- 長期間の求人広告を出したい!

## Wのアピール!! リスナブルに 長期掲載!!

① 60校のDH養成学校へハモナビオリジナル「求人ファイル」設置!

② WEB上特設求人コーナー「新卒求人コーナー」開設!



和田精密歯研グループ  
ヒューマンリソース

## ハーモニック

詳しくはお電話か、ホームページをご覧ください

0800-111-4510 FAX.06-6393-3232

ハモナビ 検索 クリック!

<http://harmonic-net.co.jp/>

● 医院の詳しい情報を的確に掲載

● 医院の雰囲気も伝える事が可能です